

丸山湿原群保全の会会報

(第 178 号)

発行日：2022 年 (R4) 5 月 18 日 編集／発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788
090 - 1895 - 8061 (今住)

E-mail:maruyamashitugengun@gmail.com



戦争は最大の環境破壊と、差別を生み出します！

季節は猛スピードで進んで行きます。春の花が咲いたと思ったらもう梅雨を迎えようとしています。月1回の会報ですから当たり前といえば当たり前。節季(24節季)が二つ入る。細かい季節が2つ進むことになります。穀雨(4月20日頃)と立夏(5月5日頃)。

西谷の田植えも終盤を迎えつつあるようです。ゴールデンウィーク中の田植えが多いと思っていたのですが、最近は少し遅めに。温暖化で刈り取り時期の調整のためか？それとも耕作者の平均年齢が上がり、曜日(会社勤め)を気にせず耕作するようになったのか？

いずれにせよ自然が相手の仕事。日照りや大雨のない穏やかな年であってほしいものです。

ウクライナ情勢の影響か、小麦や生活必需品の値上げが続いています。さて米価はどうなるのでしょうか？昨年度米が、異常に安く売られている現状。妙な世の中です。

早く戦争が終わり、落ち着いた世の中になってほしいものです。コロナもですが…

(今住 5月17日作成)

定期活動 ★4月24日(日) 定期活動 作業日 雨のため中止 ですが…

前日から大雨の予報(実際は??)。作業日ということもあり中止連絡。しかし、定点カメラのデータも気になるし一人出掛けてきました。小雨の中しっとりとした風景が。雨のほうが目立つものもたくさん。カメラにはシカが順調にご来訪！

時期的にはツチアケビ(土木通)が芽を出す時期。私はあまり好きではないのですが、気になる。名物ですし…。

駐車場から足を踏み入れるとまず目についたのがウワミスザクラ(上溝桜)。いつも、ウワミズかウワミソか混乱するサクラです。私だけ？漢字表記はミソ(溝)ではないかいな？古名を「波波迦(ははか)」というそう。古事記に出てくるようでト(占い)でシカの骨等を焼く時の木だそうです。これは以前にも書いたか。さらに調べると、よくわからないのは「材に溝を掘り占いに使った」ともあります。溝を切ったウワミスザクラ(ははか)の上でシカの骨(肩甲骨?)を焼いてヒビで占ったのか、ウワミスザクラを燃やして占ったのか、わーかーらーなーい？

さらに調べてみると「大嘗祭」(新しい天皇の最初の新嘗祭)では今でもこの占いが実施されているということです。宮内庁に誰か問い合わせてください。でも、多分天皇家の個人的行事で秘事？(ではなかったみたい…。新聞記事あり。)

古代の「波波迦(ははか)」は今の丹波篠山市から献上されて



ウワミスザクラ

いたとも。令和天皇の「大嘗祭」は奈良（天香山神社）「波波迦（ははか）」だったようです。



ツチアケビ新芽

(たいそうな・・・)

途中で枯れてしまうこともしばしば。菌従属栄養植物は気難しいのでしょうか。同じ菌従属栄養植物のギンリョウソウ(銀竜草)

話が完全に逸脱しています。ウワミズザクラは少し盛りを過ぎた感じで、しかも雨のため垂れ下がっていました。もともと垂れ下がる性質のあるサクラだとは思いますが。これもまた美しい。

さてツチアケビです。いつものところを覗いてみると・・・やっぱり出ていました。しかも、周囲に棒を刺してガードされています。誰が？あの人か？聞いてみると「知りませんよ！生えてることも」と。う～ん我々以上に丸山湿原を知る人が多くいるようです。負けてはられません、と決意を固めるツチアケビでした。



ギンリョウソウ

も咲いていました。別名ユウレイタケ。光

合成をやめた植物はやはり不気味な雰囲気があります。が、そこが不思議に魅力的。ヒナノシャクジョウ、ホンゴウソウが待ち遠しいのはなぜ？ヒト従属栄養植物にやられてるん(寄生)でしょうか？耳から何か生えてきそうです。



オオウラジロノキ花

トリガタハンショウヅル(鳥形半鐘蔓)、オオウラジロノキ(大裏白の木)は花終盤。高木のためオオウラジロノキの花はめったに見ることができない。というより意識しない。今回、訳あって意識しました。なるほどバラ科らしい花でした。首が痛かった！ヒメアギスミレ(姫顎堇)も開花。イシモチソウ(石持草)、モウセンゴケ(毛氈苔)は花が上がってきました。次々と花の咲く時期、次回も楽しみです。

嘘みたいな本当の話

★5月10日(火) 養老孟司さんゾウムシ狩り！

耳を疑うこの話。信じるか信じないかはあなたの自由！

ある日電話が・・・「養老孟司さんが丸山湿原に興味があります。ゾウムシを採集させてもらえませんか？」と。「養老孟司！」あの『バカの壁』の？にわかに信じられませんでした。猫の「まる」でテレビやってたし。うちの奥さん「まる」の本持ってるし。『ヒトの壁』読んだし。

ゾウムシコレクターというのを知っています。あの顕微鏡を覗く姿が頭をよぎりました。し～か～し！なぜ丸山湿原？

同行される方に聞くと、阪神地域に用(講演会?)があるがそれだけではもったいない。ゾウムシ採集(調査)で息抜きをさせてあげたいというお話でした。

さらに「なぜ丸山湿原？」ですが、里山に成立する湿原環境に生息するゾウムシが面白いそうです。京都花背「八丁平の湿原(高層湿原)」や「比良山系の湿原」で新種(未登録)のゾウムシが見つ



「虫捕りはいいですね」と養老さんかっているとか。条件的に丸山湿原にもいる可能性があるらしい。湧水湿原ではありますが・・・研究?のため採集をしたい、と。

「どうぞ」と言ったのですが、そこはそれ「兵庫県天然記念物」。著名人となると後々の問題が…採取の許可がいるのでは？と。なるほど。たかがゾウムシ数匹を捕まえるのに許可がいる？蚊に刺されそうになって、叩いて殺したら県の文化財保護法違反？害虫だから OK？ゾウムシも害虫では？…とも言っておられず確認。

阪神北県民局には許可の権限はなく、本庁の教育委員会文化財課へ（話は通しておくから）問い合わせしてくれとのこと。しかし、とっても面倒（捕獲場所の写真添付とか、専門家が必要とか…）。



養老先生 丸山湿原に行く！

申請をしてくれないかと、こちらにお鉢が回ってきました。

「養老孟司さんのためなら僕頑張ります！」とは言わず、クールに「いいですよ」と。言ったもののさあ大変。メールで済むようになっているのには時代の進歩を感じましたが、まず宝塚市に申請。宝塚市から副申書（宝塚市文化財審議委員にもお伺い）を付けてもらい県へ。その後さらに県の審議委員の方にお伺いを立てて許可が下りるらしい。2～3 週間必要とか。依頼されたのが 4 月 8 日。訪問予定日が 5 月 10 日。しかもゴールデンウィークをはさむ。ギリギリ？出来る？出来ない？県も市も事情はよくわかってくれたようで、連休前に口頭許可。その後 5 月 2 日に正式許可書類が到着しました。ま～実は通常の期間で下りたのですが…

さて、採集活動です。集まったのは全 14 名。取材が入るのか、カメラマンさんも。日本甲虫学会所属の方 2 名。以前から養老さんと親交がある虫愛好家などなど。うちの会からは 2 名の参加。宝塚市教育委員会の担当の方も見張り？で参加（一緒にやってもらいました）。便乗してうちの奥さん（動物愛好家＝養老ファン）も夢見心地で参加させてもらいました。来たかった会員さんごめんやで～！

養老さんは断言。「湿原には全く興味はありません。」ゾウムシです。方法はビーティングと言われるもの中心。平らなネットを持ち、棒を使って木にとまっている虫をはたき落とす。ネットがない時はビニール傘で OK。あちこちで昆虫採集が始まりました。ダニ、ノミ、クモがとにかく多い。養老さんはクモが嫌いだそうですが、私はクモのバリエーションについつい夢中に。

ゾウムシぐらいなんぼでもいると思っていたのですが、意外に採れない。なんその時には上から降ってくるのに…

ゾウムシの種類は世界で 6 万種を超えるそうで、日本でも千種以上いるそうです。まだまだ新種が見つかる可能性あり。丸山湿原でも新種を！今までコクゾウムシとかチョッキリゾウムシ、オトシブミぐらいしか気にしていませんでした。それもさらに細かく種類がわかる。木を叩き続けること数時間。ゾウムシは集まったよう



ゾウムシか？ハムシか？

な？やはり虫は採った人のものらしく、養老さんにあげる人とあげない人がいました。面白い。私は 3 頭捕獲。クチプトゾウムシ sp、チョッキリゾウムシ sp、ヒゲボソゾウムシ sp（sp＝一種）をプレゼントしました。ヒゲボソゾウムシは緑色。知らなんだー。ゾウムシ



クチプトゾウムシ sp

（象虫）は灰色や茶色系とばかり思っていました。甲虫面白いかも。

さらにゾウムシではありませんが、貴重種のカツラネクイハムシ（桂根喰葉虫）もたくさん見つかりました。湿原特有のネクイハムシでスゲ類を食草にしているとのこと。妙に日本甲虫学会の人が生き生きと網を振っているなどと思っていました。甲虫の調査としては貴重ですが、通常採取禁止ですのでご承知ください。採取の場合は県の許可をお取りください。最初と話が違うな～。

ご縁とは不思議なもので、参加の方が数十年前にヒメヒカゲ（丸山湿原幻の蝶）を丸山湿原で採集し標本にしていると。数があるかもしれないとのこと。またご連絡いただけることに。丸山湿原産の標本、これはひょっとして貴重？結構持っている人は持っているのかも？

ゾウムシ類については養老さんが持ち帰り顕微鏡で同定、標本化される予定。新種もしくは貴重種が出た場合はご連絡がある？養老コレクションに入る？しあわせ～！入らんかも・・・

採集に満足？丸山湿原を後にされました。お疲れの出ないことをお祈りいたします。県への報告書は提出済み。宝塚市教育委員会の職員さんもありがとうございました。

定期活動★5月14日（土） 基礎調査 7名で活動(体験1名を含む)

目的	市内	市外
丸山	66	58
ハイキング	33	30
散歩・登山	57	52

来場者数計 296 人
(キャパオーバー)

場所	時間	気温【水温】	電気伝導 (EC)	PH
入口	10:04	21.6℃		
第3湿原	10:50	【18.7℃】	29.7 μS/cm	6.8
視点場	11:09	19.1℃	27.6 μS/cm	6.8
第1湿原	11:23	【20.2℃】	28.7 μS/cm	6.8
第2湿原	11:40	【19.0℃】	32.0 μS/cm	6.8

今回も天候は微妙。前日は大雨騒ぎでしたがたいして降らず。しかもすっきりしない天気。でもみずみずしい雰囲気はありました。先日確認したギンリョウソウは「目玉おやじ」に。シソバツナミ（紫蘇葉立浪）は開花までもう少し。マムシ（蝮）も3匹確認しました。多いな～。気をつけてください。



ギンリョウソウ果実



シソバツナミ 花はまだ

スズメバチもポチポチ働きバチが出てくるころ。こちらにも気を付けてください。

総会を6月26日（日）午後

前日は大雨騒ぎでしたがたいして降らず。しかもすっきりしない天気。でもみずみずしい雰囲気はありました。先日確認したギンリョウソウは「目玉おやじ」に。シソバツナミ（紫蘇葉立浪）は開花までもう少し。マムシ（蝮）も3匹確認しました。多いな～。気をつけてください。

いちばん驚いたのがトキソウ（朱鷲草）。すでに開花が始まっていました。同日「綱引湿原」からも咲き出したとの連絡。ハッチョウトンボも出てるそうな・・・昨年は5月7日に連絡あり。綱引湿原が遅い？丸山湿原が早いのか？？？？個体の個性もあるやろし。自然相手に考えても仕方がない！

トンボもムカシヤンマ（昔蜻蜓）を発見！昨年は4月25日に確認。遅い？でも場所がちがうからね～。今回は第3湿原でシオヤトンボ（塩屋蜻蛉）を狙って（ハンティング）いました。（昨年は入口平場）

いよいよ梅雨から盛夏へ。動植物が最も生き生きする時期、ぜひ訪れてください。

スズメバチもポチポチ働きバチが出てくるころ。こちらにも気を付けてください。



ニホンマムシ



トキソウ開花！



ムカシヤンマ 超レア

活動日 5月22日（日）6月11日（土）26日（日）午前活動午後総会 7月9日（土）